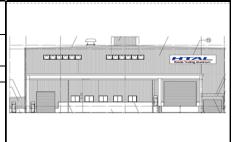
# 【八SBEE®熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	HTAL熊本工場(工場棟)	階数	地上2階	
建設地	熊本県菊池郡大津町大字平川字大	構造	S造	
用途地域等	(白地地域)	平均居住人員	31 人	
省エネ:地域区分	6地域	年間使用時間	5,856 時間/年	
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年9月14日	
敷地面積	10,506 m <sup>2</sup>	作成者	佐竹 剛	
建築面積	3,837 m²	確認日	2025年9月14日	
延床面積	3,959 m <sup>*</sup>	確認者	佐竹 剛	



## 2 CASBEE評価結果



B-50 環境品質 С 環境負荷 L

BEE = 1.1

■BEE(環境効率) = L(環境負荷)

■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値			
	プング表示	計皿	BEE値	Q値		
S	****	素晴らしい	3.0以上	50以上		
Α	****	大変良い	1.5以上3.0未満	_		
B <sup>+</sup>	***	良い	1.0以上1.5未満	_		
B-	**	やや劣る	0.5以上1.0未満	_		
С	*	劣る	0.5未満	_		

#### ■ライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	****
30%超60%以下	***
60%超80%以下	***
80%超100%以下	**
100%超	☆



排出率

74%

9	46 <b>-</b>		====	/正女士 田
	目尼 小	=	点評	価結果
U	1117	71S ==	m	

77







評価点

82.5

75.0

■熊本県重点評価基準

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

【重点事項2】安全安心で暮らしやすい社会の実現

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

【重点事項4】循環型社会の実現

87.5 52.5

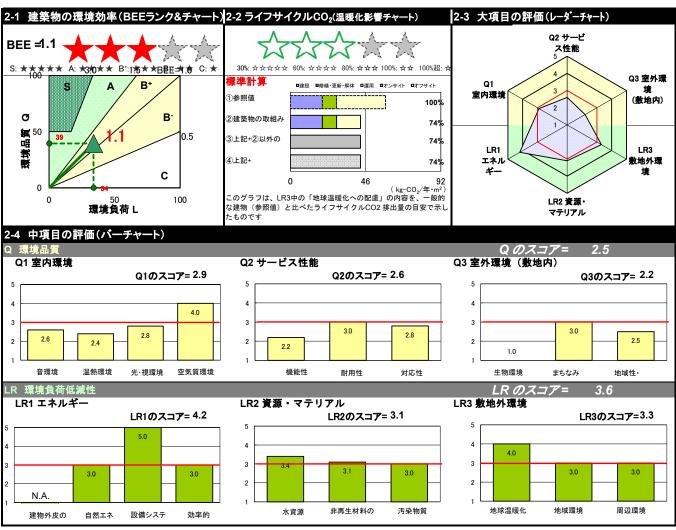
判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	<b>66666</b>
80点以上100点未満	<b>6666</b>
60点以上80点未満	<b>&amp; &amp; &amp;</b>
40点以上60点未満	<b>&amp; &amp;</b>
40点未満	<b>&amp;</b>

※評価点は、100点以上が推奨です。

## **【八\$BEE**<sup>®</sup>-建築(新 評価結果

**築(新築)2016年版 I**使用評価ソフト: CASBEE-BD NC 2016(v3.0)







■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO。」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
- ■LCCO2の算定条件等については、「LCCO2算定条件シート」を参照されたい

⇒Q1~Q3シートやLR1~LR3シートにおける<u>採点の根拠に倣って、要旨を記入</u>してください

スコアシ-	一卜 実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		重み		重み	全体
		以現 <b>能應</b> 政制 0 似安能入懷	評価点	係数	評価点	係数	
	物の環境品質			0.20			2.5
Q1 室内: 1 音環 <sup>は</sup>			2.6	<b>0.30</b> 0.15	-	-	2.6
	室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	2.0
1.2	2 遮音		3.0	0.40	-	-	
	1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-	
	2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源) 4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
13	4  外床巡自性能(里里倒掌 <i>源)</i>  } 吸音		1.0	0.20	-	-	
2 温熱理			2.4	0.35		-	2.4
	I 室温制御		3.0	0.50	-	-	
	1 室温		3.0	0.38	-	-	
	2 外皮性能		3.0	0.25	-	-	
- 0.0	3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
	2 湿度制御 3 空調方式		<b>3.0</b> 1.0	0.20 0.30	-	-	
3 光・視			2.8	0.25	-	_	2.8
	I 昼光利用		2.4	0.30	-	-	
	1 昼光率		2.0	0.60	-	-	
	2 方位別開口		-	-	-	-	
	3 屋光利用設備		3.0	0.40		-	
3.2	2 グレア対策 1 昼光制御		3.0	0.30	-	-	
3 3	1    昼光制御  3 照度		3.0 <b>3.0</b>	1.00 0.15		-	
	4 照明制御		3.0	0.15		_	
4 空気	-		4.0	0.25	-	-	4.0
	<b>人</b> 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
	1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を内装仕上・天井裏に採用	4.0	1.00	-	-	
4.2	2 換気		3.3	0.30	-	-	
	1 換気量 2 自然換気性能	  自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上(2F事務所)	3.0 4.0	0.33 0.33		-	
	3 取り入れ外気への配慮	日本民人行为周日出版。石里水出版。1700人工(27年初))	3.0	0.33	-	-	
4.3	3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
	1 CO₂の監視		-	-	-	-	
	2 喫煙の制御	建物内禁煙とする	5.0	1.00	-	-	
Q2 サーI			-	0.30	-	-	2.6
1 機能性	<u> 生</u>   機能性・使いやすさ		2.2 1.0	0.40	-	-	2.2
""	1 広さ・収納性		1.0	0.33	-	_	
	2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	-	-	
	3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-	
1.2	2 心理性・快適性	東夜町の1,00g かの空の配果とは	3.0	0.30	-	-	
	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース	事務所CH=2.7mかつ窓の設置あり	4.0	0.33	-	-	
	2 リプレッシュスペース 3 内装計画		2.0 3.0	0.33	-		
1.3	]		3.0	0.30	-	-	
	1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
	2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
	性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1	耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
	1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能		3.0 3.0	0.80 0.20	-	-	
2.2			3.2	0.20	-	-	
	1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用	3.0	0.10	-	-	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔 6 主要設備機器の更新必要間隔	エヌ・5/11/24 1401年の、四年双外上に0次上で区用	4.0 3.0	0.20 0.20			
2.4	0  工安設備機器の受制必安间隔 1 信頼性		2.8	0.20	-	-	
	1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水·衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 月代社 実性							•			-
下ののおいらい	3 ]					2.8	0.30	-	-	2.8
2 回の砂化・自由性   20 0.40   -   3.2 世の受害性   3.0 0.40   -		3.1				2.6	0.30	-	-	
32 年70中止り   3.0 0.0			1	階高のゆとり		3.0	0.60	-	-	
32 年70中止り   3.0 0.0						2.0	0.40	-	_	
33 世帯の足術性   30 0.00   -		2 2							_	
1 受対性の支軽性   3.0 0.0   1	-								-	
2 成場水質の受新性   3.0 0.0 0.0   -		3.3							-	
日本語の経験性   3.0 0.10   -						3.0	0.20	-	-	
4 最后は組の更新性   3.0 0.10   - 1   1   1   1   1   1   1   1   1			2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
4 最后は組の更新性   3.0 0.10   - 1   1   1   1   1   1   1   1   1			3	雷気配線の更新性		3.0	0.10	- 1	_	
5 説情報等の更相性   3.0 0.20   - 2   -						3.0	0.10		_	
下のプラブスペースの確保									-	
G3 室外標準(整地内)								-	-	
1 生態環境の保全を創出						3.0	0.20	-	-	
2 まなわ-悪Q・の配産	Q3 :	室外J	環境(東	<b>数地内</b> )		-	0.40	-	-	2.2
2 まなわ-悪Q・の配産	1 :	生物理	量境の(	<b>呆全と創出</b>		1.0	0.30		-	1.0
3 地域性・アメニティーの配置		_				4			_	
3.1 地域性への配慮、快速性の向上   3.0 0.50								1		
R	ا ع					_		-	-	2.5
R							0.50	-	-	
接触が皮の熱色検の動		3.2	敷地内	R温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
接触が皮の熱色検の動	I R	建築	物の₹	置造自荷低減性			-		-	3.6
1 連動大名の発急者物制				W 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12			0.40			
2 自然エネルギー利用       3.0 0.13       .3.0         3 配催シストムの高海峰化       (BEIJBEIm): 0.49       5.0 0.03       .5.0         4 参考的選用       3.0 0.25       .3.0         集合性を記述への評価       3.0 0.50       .5.0         4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制       3.0 0.50				MA 共和制		_				
3 数据システムの高齢化		. —				-		-		
4 対象性の課価								-	-	
4 対象性の課価				の高効率化	[BEI][BEIm]: 0.49	5.0	0.63	-	-	5.0
# 会任宅以外の評価						3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 モニタリング   3.0 0.50				宇宝以外の評価					-	
#全住宅の評価										
# 会住宅の評価   4.1   モニタリング   1.2 漢漢・マテリアル										
1   モニッリング						3.0	0.50	-	-	
1.2 度 第一マデリアル			集合住	宝の評価 という		-	-	-	-	
1.2 度 第一マデリアル			4.1	モニタリング			-	-	-	
R							_		_	
大変解保護   3.4   0.20   - 3.4     1.1 節水	LDO	<b>咨语</b>					0.30			2.4
1.1 節水				7 10				- !		
1.2	1 2				Mr. 1 1/2 + 1/4 PP				-	3.4
1       雨水利用システム導入の有無       3.0       0.70       -       -         2       銀排水等利用システム導入の有無       3.0       0.30       -       -       3.0       0.30       -       -       3.0       0.30       -       -       3.0       0.20       -       -       3.0       0.20       -					即水コマ+擬首装直	4.0	0.40		-	
1       雨水利用システム導入の有無       3.0       0.70       -       -         2       銀排水等利用システム導入の有無       3.0       0.30       -       -       3.0       0.30       -       -       3.0       0.30       -       -       3.0       0.20       -       -       3.0       0.20       -		1.2	雨水和	川用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
2 辞再生検資源の使用量削減       3.0       0.30       -       3.1       0.60       -       3.1       0.60       -       3.1       0.60       -       3.1       0.60       -       3.1       0.60       -       3.1       0.60       -       3.1       0.60       -       3.1       0.60       -       3.1       0.60       -       3.1       0.60       -       3.1       0.10       -       -       -       2.0       0.10       -       -       2.0       0.10       -       -       2.2       2.2       2.2       2.4       2.4       2.4       2.4       2.4       2.4       2.4       2.4       2.4       2.4       2.2       2.4       2.4       2.4       2.2       2.3       2.0       - </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.70</td> <td></td> <td>_</td> <td></td>							0.70		_	
2 非再生性資源の使用量削減       3.1       0.60       - 3.1         2.1 材料使用量の削減       2.0       0.10       - 2.2         2.2 販存建業躯体等の継続使用       3.0       0.20       - 3.0         2.4 駆体材料におけるリナイクル材の使用       3.0       0.20       - 3.0         2.5 持続可能な森林から産出るれた木材       2.6 部材の再利用可能性向上への取組み       分別可能な下地材の採用(軽量鉄骨下地)       4.0       0.20       - 3.0         3.1 有書物質を含まない材料の使用       3.0       0.20       - 3.0       3.0       - 0.20       - 3.0         3.2 アコン・ハロンの回避       3.0       0.50       - 2.1       3.0       0.50       - 2.1       3.0       0.50       - 2.1       3.0       0.50       - 2.2       2.2       2.2       2.2       2.2       2.2       3.3       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.3       3.0       0.50       - 3.0       0.50       - 3.0       0.50       - 3.0       0.										
2.1 材料使用量の削減       2.0 0.10									-	0.1
2.2 既存建築躯体等の継続使用       3.0       0.20       -       3.0       0.0       0.0       -       3.0       0.30       -       3.0       0.30       -       3.0       0.30       -	2			-					-	3.1
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用       3.0       0.20       -         2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用       3.0       0.20       -         2.5 静材の再利用可能性向上への取組み分別可能な下地材の採用(軽量鉄骨下地)       4.0       0.20       -         3 万集物質含有材料の使用回避       3.0       0.30       0.20       -         3.1 有害物質含含主ない材料の使用       3.0       0.30       0.30       -         2 旁泡剤(断熱材等)       3.0       0.50       -         3 冷媒       -       -       -         LR3 敷地外環境       -       -       -       -         2 地域環境への配慮       ライフサイクルCO2排出車:74%       4.0       0.33       -       3.0         2 地域環境への配慮       ライフサイクルCO2排出車:74%       4.0       0.33       -       3.0         2.1 大気汚染防止       3.0       0.25       -								-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリナイクル材の使用       3.0 0.20		2.2	既存建	建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリナイクル材の使用       3.0 0.20		2.3	躯体和	料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	_	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材       3.0       0.10										
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み   3.0	-									
3.万条物質含有材料の使用回避					人則可能な下地封の域中/セラ애県下地\					
3.1 有害物質を含まない材料の使用				> 13 13/13/13 130 12 1/3 2	カ別円能は下地付の採用(軽重鉄管下地)			-	-	
3.2 プロン・ハロンの回避	3	污染物	物質含す	有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.2 プロン・ハロンの回避		3.1	有害物	質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
1 消火剤	-								_	
2 発泡剤(断熱材等)       3.0 0.50		0.2					30			
Ref						-	0.50			
LR3 敷地外環境								-	-	
1 地球温暖化への配慮       ライフサイクルCO2排出率:74%       4.0       0.33       4.0         2 地域環境への配慮       3.0       0.33       3.0         2.1 大気汚染防止       3.0       0.25						3.0	0.50		-	
1 地球温暖化への配慮       ライフサイクルCO2排出率:74%       4.0       0.33       4.0         2 地域環境への配慮       3.0       0.33       3.0         2.1 大気汚染防止       3.0       0.25	LR3	敷地	外環境				0.30	-	-	3.3
2 地域環境への配慮       3.0       0.33       3.0         2.1 大気汚染防止       3.0       0.25       3.0         2.2 温熱環境悪化の改善       3.0       0.50       3.0         2.3 地域インフラへの負荷抑制       3.0       0.25       3.0         1 雨水排水負荷低減       3.0       0.25       3.0         3 交通負荷抑制       3.0       0.25       3.0         4 廃棄物処理負荷抑制       3.0       0.25       3.0         3.1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       3.0         1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       3.0         3 悪臭					ライフサイクルCO2排出率:74%	4.0	0.33		-	4.0
2.1 大気汚染防止       3.0 0.25									_	
2.2 温熱環境悪化の改善       3.0       0.50										0.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制       3.0       0.25       -       -         1 雨水排水負荷低減       3.0       0.25       -       -         2 汚水処理負荷抑制       3.0       0.25       -       -         3 度養物処理負荷抑制       3.0       0.25       -       -         3 周辺環境への配慮       3.0       0.33       -       -         3.1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       -       -         2 振動       -       -       -       -         3 悪臭       -       -       -       -         3.2 風書、砂塵、日照阻害の抑制       3.0       0.40       -       -         1 風書の抑制       3.0       0.70       -       -         3 日照阻害の抑制       3.0       0.30       -       -         3 出際の抑制       3.0       0.30       -       -         3 出際の抑制       3.0       0.30       -       -         3 出際の抑制の多ち外に漏れる光への対策       3.0       0.70       -       -         3 出版的の抑制									-	
1 雨水排水負荷低減       3.0       0.25       -       -         2 汚水処理負荷抑制       3.0       0.25       -       -         3 度棄物処理負荷抑制       3.0       0.25       -       -         3 周辺環境への配慮       3.0       0.33       -       -       3.0         3.1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       -       -         1 騒音       3.0       1.00       -       -         2 振動       -       -       -       -         3 悪臭       -       -       -       -         3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制       3.0       0.40       -       -         1 風害の抑制       3.0       0.30       -       -         3 日照阻害の抑制       3.0       0.30       -       -         3 出療の抑制       3.0       0.20       -       -         1 屋外期明及び屋内開明のうち外に漏れる光への対策       3.0       0.70       -       -								-	-	
2 汚水処理負荷抑制       3.0       0.25       -       -         3 交通負荷抑制       3.0       0.25       -       -         4 廃棄物処理負荷抑制       3.0       0.25       -       -         3 周辺環境への配慮       3.0       0.33       -       -       3.0         3.1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       -       -         1 騒音       3.0       0.40       -       -         3 悪臭       -       -       -       -         3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制       3.0       0.40       -       -         1 風害の抑制       3.0       0.70       -       -         3 日照阻害の抑制       3.0       0.30       -       -         3.3 光害の抑制       3.0       0.20       -       -         1 屋外期明及び屋内開明のうち外に漏れる光への対策       3.0       0.70       -       -		2.3	地域イ	ンフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制       3.0       0.25       -       -         3 交通負荷抑制       3.0       0.25       -       -         4 廃棄物処理負荷抑制       3.0       0.25       -       -         3 周辺環境への配慮       3.0       0.33       -       -       3.0         3.1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       -       -         1 騒音       3.0       0.40       -       -         3 悪臭       -       -       -       -         3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制       3.0       0.40       -       -         1 風害の抑制       3.0       0.70       -       -         3 日照阻害の抑制       3.0       0.30       -       -         3.3 光害の抑制       3.0       0.20       -       -         1 屋外期明及び屋内開明のうち外に漏れる光への対策       3.0       0.70       -       -			1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制       3.0       0.25       -       -         3 周辺環境への配慮       3.0       0.33       -       -       3.0         3.1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       -       -       -         1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       1.00       -       -       -         2 振動       -						3.0	0.25		_	
4 廃棄物処理負荷抑制       3.0       0.25       -       -         3 周辺環境への配慮       3.1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       -       -       -         1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       -       -         2 振動       -       -       -       -         3 悪臭       -       -       -       -         1 風害の抑制       3.0       0.40       -       -         2 砂塵の抑制       3.0       0.30       -       -         3 日照阻害の抑制       3.0       0.30       -       -         3.3 光害の抑制       3.0       0.20       -       -         1 屋外期明及び屋内開明のうち外に漏れる光への対策       3.0       0.70       -       -										
3 周辺環境への配慮         3.1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       -       -         1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       1.00       -       -         2 振動       -       -       -       -         3 悪臭       -       -       -       -         1 風害の抑制       3.0       0.40       -       -         2 砂塵の抑制       3.0       0.30       -       -         3 日照阻害の抑制       3.0       0.30       -       -         3.3 光害の抑制       3.0       0.20       -       -         1 屋外期明及び屋内原明のうち外に漏れる光への対策       3.0       0.70       -       -										
3.1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       0.40       -       -         1 騒音・振動・悪臭の防止       3.0       1.00       -       -         2 振動       -       -       -       -         3 悪臭       -       -       -       -         1 風害の抑制       3.0       0.40       -       -         2 砂塵の抑制       3.0       0.70       -       -         3 日照阻害の抑制       3.0       0.30       -       -         3.3 光害の抑制       3.0       0.20       -       -         1 屋外無明及び屋内原明のうち外に漏れる光への対策       3.0       0.70       -       -								-		
1 騒音     3.0     1.00     -     -       2 振動     -     -     -     -       3 悪臭     -     -     -     -       1 風害の抑制     3.0     0.40     -     -       2 砂塵の抑制     3.0     0.70     -     -       3 日照阻害の抑制     3.0     0.30     -     -       3.3 光害の抑制     3.0     0.20     -     -       1 屋外期明及び屋内原明のうち外に漏れる光への対策     3.0     0.70     -     -	3					1		-	-	3.0
2 振動		3.1	騒音•	振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
2 振動			1	騒音		3.0	1.00	-	-	
3 悪臭									_	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制       3.0       0.40       -       -         1 風害の抑制       3.0       0.70       -       -         2 砂塵の抑制       -       -       -       -         3 日照阻害の抑制       3.0       0.30       -       -         3.3 光害の抑制       3.0       0.20       -       -         1 屋外照明及び屋内照明のうち外に濡れる光への対策       3.0       0.70       -       -										
1 風害の抑制     3.0     0.70     -     -       2 砂塵の抑制     -     -     -       3 日照阻害の抑制     3.0     0.30     -     -       3.3 光害の抑制     3.0     0.20     -     -       1 屋外照明及び屋内照明のうち外に濡れる光への対策     3.0     0.70     -     -							-			
2 砂塵の抑制     -     -     -       3 日照阻害の抑制     3.0     0.30     -       3.3 光害の抑制     3.0     0.20     -       1 屋外照明及び屋内照明のうち外に濡れる光への対策     3.0     0.70     -		3.2							-	
3 日照阻害の抑制     3.0 0.30			1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
3 日照阻害の抑制     3.0 0.30			2	砂塵の抑制		-	-	-		
3.3 光害の抑制       3.0       0.20       -						3.0	0.30		_	
1     屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策       3.0     0.70	-	2 2								
		0.0	1				·			
Z   基光の建物外型による反射光(クレア)への対策   3.0   0.30   -									-	
			2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

建物名称 HTAL熊本工場(工場棟)

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

	熊本県重点	評価結果		<i>ሂ/ታ</i> በካር	合評価点	77	
重	重点事項					重点事項	₹##1±
	重点項目(配成	<b>取項目</b> )	スコア	重み 係数	評価点	重み係数	評価配点
1	① 温室効果ガス排出量削減の推進						
	Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.10			
	Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.10			
	Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.10			
	LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	0.0	0.00	87.5	0.40	35.00
	LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
	LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
	LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
	LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
2	安全安心で暮	らしやすい社会の実現					
	Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
	Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25	52.5	0.20	10.50
	Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15	32.3	0.20	10.50
	Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
	LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
3	県の地域資源	の有効活用と保全					
	Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
	LR2-1.1	節水	4.0	0.30	82.5	0.20	16.50
	LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
	LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
4							
	Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
	Q2-3	対応性·更新性	2.8	0.30	75	0.20	15.00
	LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10	75	0.20	15.00
	LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
	LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

### ■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20:スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

印刷:モノクロ 設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

·キーボード操作: 改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

Г	・キーホート操作:以行の除は <u>(Alt)キー&amp;(Enter)キー</u> で次の行に進みより。
	計画上の配慮事項 ※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	2階事務所における空気室環境について特に配慮した。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を内装仕上·天井裏に採用し、空気室環境に配慮した。
Q2 サービス性能	2階事務所の天井高2.7mかつ窓の設置により、広さ感・景観に配慮した。 耐用年数の長い配管材料の採用により、耐用性に配慮した。
Q3 室外環境 (敷地内)	最低限の緑化を施し、良好な景観形成に努めた。
LR1 エネルギー	BEIm=0.49
LR2 資源・マテリアル	節水コマや擬音装置の採用により、水資源の保護に努めた。 分別可能な下地材の採用により、部材の再利用可能性向上に配慮した。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率:74%
その他	